

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

中北.com

チウホクドットコム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013



中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

「学 ぶ 喜 び」

中北教育事務所

所長 小林 新吾

目には青葉 山ほととぎす 初鯉 山口素堂 (1642~1716)

この季節になると自然がここぞとばかりに輝きはじめます。中北教育事務所の周囲の木々が一斉に芽吹くのを目のあたりにすると、植物の生命力の確かさや自然のエネルギーの鼓動を感じます。

春の訪れを実感したのもつかの間、あっという間に立夏を迎えます。冒頭の句は山梨ゆかりの山口素堂の句ですが、初夏に向かっていく高揚感を視覚・聴覚・味覚でみごとに表現しています。この句のように、季節感や旬の味わいを楽しむ心のゆとりを持ちたいものです。

さて、関係の皆様方には、日頃より中北教育事務所の地域教育業務にご理解とご協力を賜りますことに、心より感謝申し上げます。

今年度、中北教育事務所におきましては、5名の職員の転出入がありました。新たなメンバーを迎え、地域教育支援担当、学校教育担当、総務担当に、非常勤職員のスクールソーシャルワーカー、若手教員アドバンスティーチャーを含めた総勢24名体制で業務を進めます。

中北教育事務所の地域教育支援担当の業務は、学校・家庭・地域・社会のそれぞれの教育の振興・発展のために、各種事業の推進と連携を促進する、非常に広い業務を担っています。

具体的には、地域教育支援として、学校・家庭・地域社会の連携推進に関する各種事業の実施や情報誌の発行などをおして、行政・学校・地域との連携による教育力の向上を図るとともに、児童生徒の地域体験活動等への支援も行います。

生涯教育の推進としては、子育て、家庭教育、幼児教育の推進を図るとともに、放課後こどもプラン、青少年教育・成人教育の推進、ことぶき勸学院の運営補助等にかかわっていきます。

また、社会教育の振興としては、各種社会教育団体への支援、及び社会教育振興会への授業の参加及び促進を図っていきます。

数学のノーベル賞と言われるフィールズ賞を受賞された数学者の広中平祐氏は、「生きることは学ぶことであり、学ぶことには喜びがある。」と述べていますが、「学び」の先には、新たな知識との出会いはもちろん、学びをとおした新たな人との出会い、そして何より新たな自分の発見や気づきの喜びが待っているに違いありません。

さまざまな時と場所と機会を通じ、一人一人の人間がよりよく生きるため、支え合い分かち合って、お互いの育ちにかかわりたいものです。

中北教育事務所といたしましても、県民のよきパートナーとして信頼され、地域に貢献できるよう、スピード感を持って業務を推進していく所存です。また、各種関係団体との連携を図りながら、家庭教育・地域教育・社会教育の振興・発展のため取り組んでまいります。

どうぞ、本年度も関係の皆様方の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

中北.com no.1コンテンツ

p1 中北教育事務所 所長あいさつ

p2 ことぶき勸学院入学式・講演会

p3 甲府西高・小笠原小学校

p4 中北教育事務所 地域教育連携事業

ご入学おめでとうございます ～山梨ことぶき勸学院 入学式～

4月16日、YCC県民文化ホールで平成31年度山梨ことぶき勸学院の入学式が挙行されました。昭和62年に開校した「山梨ことぶき勸学院」はこれまでに8300人を超える卒業生を輩出した歴史ある学びの場であり、元号が変わる本年度は、平成最後の入学生として甲府教室58名・中北教室29名を含む164名が入学されました。式では学院長である市川満教育長より、「人生100年時代に向け、誰もが何歳になっても学び直し、新しいことにチャレンジできる環境が求められる中、勸学院での学びが人生100年時代という未知なる世界への旅の地図となり、旅を実りあるものにすることを願う」という式辞をいただきました。

そもそも「山梨ことぶき勸学院」の校名の一部である「勸学」という言葉は、中国の古典に由来しています。南宋の儒学者である朱子はその勸学文の中で、

勿謂（いふなかれ）

今日不学而有所来日（こんにちまなばずとも らいじつありと）

勿謂（いふなかれ）

今年不学而有所来年（こんねんまなばずとも らいねんありと）

日月逝矣 歳不我延（じつげつゆけり とし われとのびず）

嗚呼老矣 是誰之愆（ああおいたり これ だれのあやまちぞ）

と語り、明日と言わず、学びたいと思った今日その時にこそ、学び始めることを勧めています。山梨ことぶき勸学院の新入生のみなさんは、その校名の由来の通り、学問への強い気持ちを胸に、勸学院で新たな生きがいづくりと仲間づくりの第一歩を踏み出しました。



「楽しく生きてこそ！」

山梨大学名誉教授・早稲田大学名誉教授
池田清彦氏 講演会



山梨ことぶき勸学院の入学式の午後には、山梨大学名誉教授・早稲田大学名誉教授であり、生物学者・理学博士である池田清彦先生から、「いきいきと楽しく生きる」と題してご講演をいただきました。ご専門である生物学分野だけでなく、社会経済から科学哲学、生き方論まで幅広い分野に関する著書をお持ちであり、現在フジテレビ系「ホンマでっか!? TV」でコメンテーターを務められておられる先生は、長く山梨大学教育学部で教鞭を執られていたことから、山梨の風土や文化、食べ物などを大変詳しくご存じです。山梨での暮らしのエピソードを交えた今回の講演会では、「長く生きて、楽しく生きなければ意味がない」「人と違う趣味を持ち、その道で第一人者となれば大きな生きがいになる」などと語られ、その軽妙でわかりやすく、ユーモアたっぷりの講演に、会場は終始笑いに包まれました。



国際バカロレア ワールドスクールに認定

～ 山梨県立甲府西高等学校 ～



平成27年度から国際バカロレアの認定校となる準備を続けてきた山梨県立甲府西高等学校が、このたび国際バカロレアワールドスクールに認定されました。国際バカロレアはスイスのジュネーブに本部を持つ国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムです。国際バカロレアは、その使命として、多様な文化の理解と尊重の精神を通じ、より良い、そしてより平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者を育成することを掲げ、共通カリキュラムと世界統一試験を実施し、統一試験に合格した者に国際バカロレア資格の授与を行っています。甲府西高校では16歳から19歳を対象とし、所定のカリキュラムを原則として

2年間かけて履修するプログラムが、希望する生徒に提供されます。国際バカロレアの教育の特徴は、創造性・独創性を育むとともに、批判的分析や批判的思考を重視するということです。生徒は自ら課題を設定し、探究活動を行って、収集したデータや情報を基に自分で考えたり、活発なディスカッションを行って考えを深めたりといった学習経験を通じて、幅広い知識を応用できる思考力を身につけていきます。また地域の方々との交流を通じ、自分の住むコミュニティの課題を把握してその解決に向けて取り組む活動に関わることで、社会に関わる意識が高まることも期待されています。

地域の子どもたちの安全を見守りたい！

～ 小笠原小学校区見守り活動出発式 ～

4月4日（木）、南アルプス市立小笠原小学校にて小中学生見守り活動出発式が行われました。この見守り活動出発式では、多くの地域の方々が見守る中、新一年生へ励ましの言葉と防犯グッズが贈られました。小笠原小学校区の子どもの登下校時に安全を見守るこの活動は、10年以上にわたる長い期間行われているものであり、毎日登校時は午前7：30から、また下校時は午後3：00から、「見守り隊」と呼ばれる小笠原小学区にお住まいの地域の方々、通学路に立って児童の安全を見守ります。平成13年度からこの活動に取り組んでおられる小笠原小学校元校長杉本健さんによれば、多くの地域の方々の理解と協力で行われるこの活動のおかげで、これまで児童が巻き込まれる事故は1件もないとのこと。また街角に立つ見守り隊の皆さんには児童・生徒からだけでなく、地域の方々からも挨拶などの声がかかり、子どもの見守り活動が町全体の防犯と交通安全に役立っている様子がうかがえました。



出発式の様子



柿平の交差点に立つ外園幸宏さん、鈴木栄悟さん、杉本健さん

令和元年度 中北教育事務所 地域教育連携事業について

中北教育事務所地域教育支援スタッフは、今年度も地域の教育機能の向上、学校・家庭・地域社会の連携の促進、家庭教育への支援、学校の教育活動への地域の活力の導入・活用、地域コミュニティの育成等に取り組み、地域教育の推進及び市町村教育委員会への支援を図っていきたいと思いますので、関係各位の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



<主な業務内容>

- ・異校種間授業参観『公開できる授業等一覧』作成・配布
- ・『中北地区子育て相談窓口・教育相談窓口案内』作成・配布
- ・県社会教育課，高校教育課，高校改革・特別支援教育課事業への協力
(少年海洋道中，放課後子ども総合プラン，高校生インターンシップ事業，各種アンケート等)
- ・地域教育情報紙『中北.com』の発行 ※年間6回発行予定
- ・地域教育推進連絡協議会『中北地区地域教育推進連絡協議会』の開催

①第1回中北地区地域教育推進連絡協議会

日時 令和元年6月20日(木) 14:00~16:30

場所 北巨摩合同庁舎 101会議室

研修会(講演会)

演題 青少年の非行原因と立ち直りの支援に関する内容(仮題)

講師 外川 江美 氏(甲府少年鑑別所 主席専門官)

②第2回中北地区地域教育推進連絡協議会

日時 令和2年1月30日(木) 14:00~16:30

場所 北巨摩合同庁舎 101会議室

研修会(講演会) 講師選定中

- ・地域教育フォーラムの開催

日時 令和元年10月24日(木) 14:20~16:20

場所 甲斐市双葉ふれあい文化館ホール

研修会(講演会)

演題 子どもの心を育てるコミュニケーションに関する内容

講師 栗田 真司 氏

(山梨大学大学院 総合研究部 教育学域 教育学系 教授)

令和元年度 『中北.com』 No.1

編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援

担当：深澤 隆二、雨宮 靖子

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013